

設楽ダム建設事業

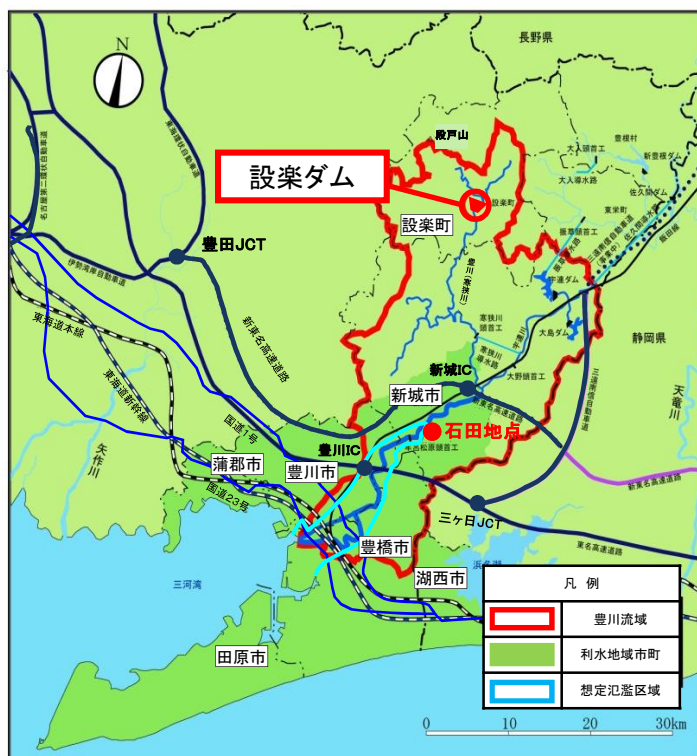
SHITARA DAM

www.cbr.mlit.go.jp/shitara

豊川流域の概要

豊川は、その源を愛知県北設楽郡設楽町の段戸山に発し、三河湾に注ぐ幹川流路延長約77km、流域面積724km²の一級河川です。流域市町には約61万人（3市1町）の人々が生活しており、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。

流域面積	724km ²
幹川流路延長	豊川 77km
流域市町村	3市1町 ※豊橋市、豊川市、新城市、設楽町
流域市町村人口	約61万人 ※令和2年国勢調査



洪水

これまでに、堤防の決壊などによって尊い人命や財産を失ってきました。

豊川では、これまで幾度も洪水による被害を受けてきました。

そのため、放水路の整備（昭和13～40年）や、豊橋市内の狭窄部の改修工事（昭和46～62年）などを実施してきましたが、近年でも洪水被害が発生しており、洪水を安全に流せる状況には、至っておりません。



平成23年9月台風15号の豊橋市内での浸水時の様子
（左）下条霞 （右）牛川霞

渇水

近年でも渇水による取水制限が行われています。

豊川の水は、豊川用水事業（昭和43年完成）によって、宇連ダムや天竜川水系からの導水などが行われ、東三河地域や静岡県湖西地域の水利用に役立ってきました。

しかし、令和元年4月から6月にかけて、最大で農業用水・水道用水・工業用水15%の節水を行うなど近年でも渇水に見舞われており、中部圏においても最も水需要が逼迫している地域です。



川底が露出する大野頭首工

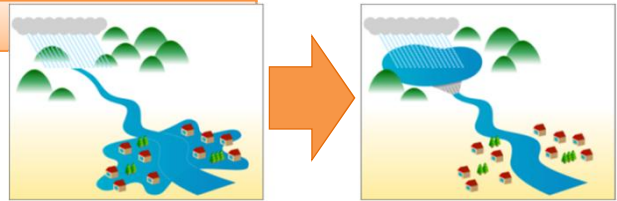
渇水時（平成18年）の宇連ダム

設楽ダム の 役割

設楽ダムは、豊川で幾度となく繰り返されている洪水氾濫と、頻発する渇水の被害から人々の暮らしを守るため、そして活力に満ちた東三河地域の発展に貢献するための3つの役割を果たす多目的ダムです。

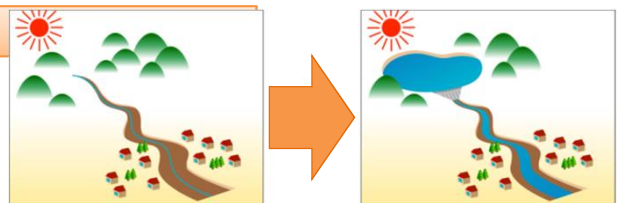
①洪水を調節します

大雨が降った際に一度に川に流れ出さないよう水の量を調節し、下流の洪水被害を軽減します。



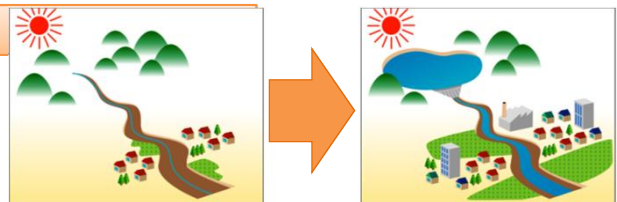
②川の流れを保ちます

雨が一度降った時の水を貯めておき、10年に1度ぐらいの割合でおこる渇水時に、豊川に一定量の水を流すように計画されています。



③利用可能な水をつくります

貯水池の水を新たな水源として、東三河地域かんがい用水(農業用水)と水道水を合わせて約 $0.5\text{m}^3/\text{s}$ の水を新たに使えるようにします。

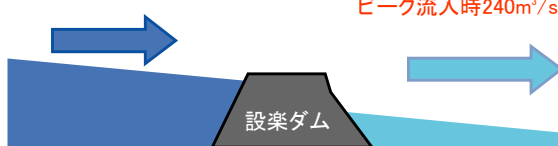


150年に1回の大洪水がきたら

150年に1回発生する大洪水($7,100\text{m}^3/\text{s}$)に対しても被害を軽減します。

●ダム地点

ピーク時 $1,490\text{m}^3/\text{s}$



ピーク流入時 $240\text{m}^3/\text{s}$

ダム地点で最大約 $1,250\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行います。

●基準地点の石田地点



下流の基準地点の石田では、約 $1,000\text{m}^3/\text{s}$ (約1m水位を下げる)効果があります。

川に一定の水が流れることで

川の流れを清潔に保ち、豊かな自然環境、景観を守ります。

瀬切れなど流れの少ない日数

近年(H15年度～R3年度)の年平均

約200日



流量改善前/瀬切れの状況
(2004年4月26日)



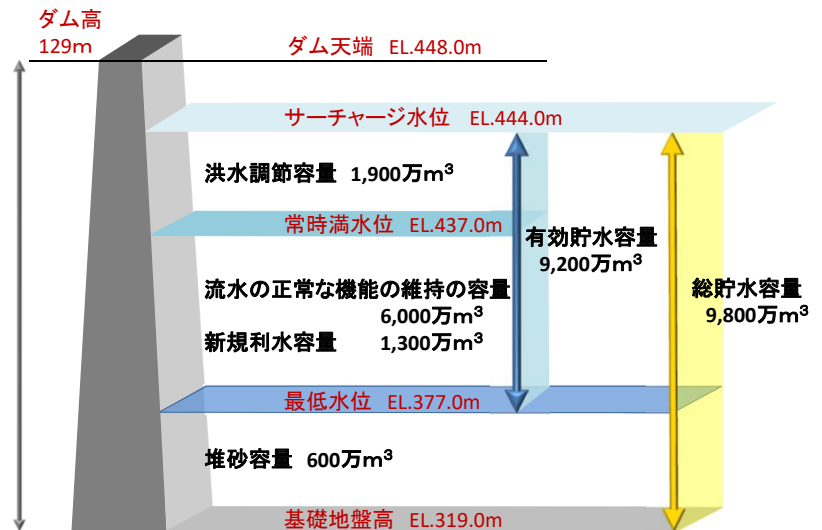
流量改善後/流れのある状況
(2004年4月29日 $1.3\text{m}^3/\text{s}$)

設楽ダム完成後

10年に1回発生する規模の渇水において、河川流量を増加させることができます。

設楽ダムの計画諸元

形式	重力式コンクリートダム
堤高	約129m
流域面積	約62km ²
湛水面積	約3km ²
総貯水容量	9,800万m ³



設楽ダムの事業経緯

設楽ダム建設事業では、124世帯の皆様の移転をはじめとし、多くの関係者の方々にご協力をいただいています。

令和16年度完成に向けて、工事を進めています。

昭和53年	4月	実施計画調査に着手	平成22年	9月	検証に係る検討の指示
平成2年	5月	「豊川水系における水資源開発基本計画」閣議決定		11月	「第1回設楽ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」を開催 第2回：平成23年2月 第3回：平成23年5月 第4回：平成23年12月 第5回：平成25年2月
平成11年	12月	「豊川水系河川整備基本方針」策定			
平成13年	11月	「豊川水系河川整備計画」策定	平成26年	3月	事業評価監視委員会での審議（対応方針（案）「継続」）
平成15年	4月	建設事業に着手		4月	国土交通大臣による対応方針「継続」の決定
平成18年	2月	「豊川水系における水資源開発基本計画」全部変更閣議決定	平成28年	9月	基本計画（第1回変更）告示（工期及び事業費の変更）
	4月	「豊川水系河川整備計画」一部変更	平成29年	3月	転流工着手
平成19年	6月	「豊川水系設楽ダム建設事業環境影響評価書」を公告縦覧	令和2年	3月	左岸頂部掘削工事着手
			令和4年	8月	基本計画（第2回変更）告示（工期及び事業費の変更）
平成20年	10月	特定多目的ダム法に基づく「設楽ダムの建設に関する基本計画」告示	令和5年	2月	転流開始
平成21年	2月	損失補償基準妥結、ダム建設同意調印	令和5年	9月	ダム本体建設1期工事着手
	3月	水源地域整備計画決定	令和5年	10月	付替県道 設楽根羽線一部供用開始
	6月	用地補償契約着手	令和6年	11月	設楽ダム本体工事着工式
	8月	道路工事着手			
	12月	検証の対象とするダム事業に選定			



設楽ダム本体工事着工式



国土交通省 中部地方整備局
設楽ダム工事事務所 新城庁舎
（総務課・用地第一課・用地第二課）

〒441-1341
愛知県新城市杉山字大東57
TEL：0536-23-4331 FAX：0536-23-4408

- ・総務課：庁舎管理や契約、経理などを行っています。
- ・用地第一課・用地第二課：ダム建設に必要な土地の取得や建物等の補償を行っています。



国土交通省 中部地方整備局
設楽ダム工事事務所 設楽庁舎
（工務課・工事課・調査課）

〒441-2301
愛知県北設楽郡設楽町田口字川原1-2
TEL：0536-62-1290 FAX：0536-62-1291

- ・工務課：ダム本体や付替道路、その他関連施設に関する工事を行うために必要な測量や地質調査、構造設計、工事間の調整などを行っています。
- ・工事課：ダム本体、付替道路、維持工事などの工事監督を行っています。
- ・調査課：ダム建設に係わる事業計画、広報、環境保全活動を行っています。